

全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス [<https://www.zenhokyo.gr.jp>]

—今号の目次—

- ◆ 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用した保育所・幼稚園・放課後児童クラブ・児童福祉施設等の整備費支援について」が発出されました……………1
- ◆ 「令和4年度認定こども園研修会」を開催します！……………2
- ◆ 「第20回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会」開催のご案内(児童虐待防止全国ネットワーク)……………3

◆ 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用した保育所・幼稚園・放課後児童クラブ・児童福祉施設等の整備費支援について」が発出されました

令和4年10月4日、コロナ禍における原油価格・物価高騰等をめぐって、標題事務連絡が発出されました。

コロナ禍における原油価格・物価高騰をめぐっては、本ニュース No.30 でお伝えしているとおり、令和4年9月9日に開催された「第4回物価・賃金・生活総合対策本部」にて、物価高騰に対する追加対策等がとりまとめられ、既存の臨時交付金の増額・強化として、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」が創設されることとなりました。

今般発出された事務連絡では、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」において、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている保育所・幼稚園・認定こども園や放課後児童クラブ、児童福祉施設等の整備において建築資材費等の高騰が生じている場合の事業者支援にも活用できる旨が示されています。

「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」は、支援対象が「都道府県及び市町村」となっており、保育所・認定こども園等においては、地方公共団体が取り組まな

い限り、保育所・認定こども園等の負担軽減につながりません。地方公共団体が取り組まない場合には、保育所・認定こども園等からの働きかけが必要になります。

さらには、事務連絡には「事業者の申請にかかる負担軽減にもご配慮いただくよう」とされており、地方公共団体に働きかける際にあわせて上記についても伝えていただくことが保育所・認定こども園等の負担軽減につながると考えられます。

すでに、保育所・認定こども園等における給食費および光熱水費の負担軽減については、既存の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を拡充し、子育て世帯への支援に充てることができる旨を本ニュース No.22-10 および No.22-15 でお伝えしております。

標題通知の詳細は、別添資料「1」をご確認ください。

◆「令和4年度認定こども園研修会」を開催します！

全国保育協議会では、「令和4年度認定こども園研修会」を下記日程で開催します。

新型コロナウイルス感染症が拡大し、参集しての研修会の開催は難しい状況になりました。全保協においても、この間、オンラインを活用した研修会を実施してきました。オンライン研修は、どこでもいつでも受講できるという利点がある一方で、「実際に会っての議論をしたい」「オンラインでの交流はなかなか深まらない」「仲間ができづらい」といったご意見も多くいただいていたいました。

新型コロナウイルスの有効な感染対策が徐々に明らかになるなか、今回の「認定こども園研修会」は参集での開催を取り入れることとしました。

今回の研修会では講義のなかでグループワークの時間を設け（プログラム内◎の講義）、認定こども園特有の課題を解決する方策を学ぶとともに、今後認定こども園への移行を検討する施設にも参考となるよう、感染対策を講じながら参加者同士の情報共有と意見交換を行い、認定こども園の今後の展望や運営のあり方について学ぶ内容としています。

研修会の詳細やお申し込みの方法等は、下記および別添開催要項をご確認ください。

申し込み締切は11月18日（金）です。ぜひご参加ください。

日 時	令和（2022）4年12月5日（月）～6日（火）
開催方法	ハイブリッド方式（参集方式+オンライン配信）
定 員	参集 60名+リアルタイム配信 120名+アーカイブ配信 300名
対 象 者	幼保連携型・保育所型認定こども園の役職員（保育所の役職員も受講可）
参 加 費	● 参集：会員 15,000円、非会員 20,000円 ● ライブ配信：会員：12,000円、非会員 17,000円 ● アーカイブ配信：会員 10,000円、非会員 15,000円

	※参集、ライブ配信をお申込みの方はアーカイブ配信もご覧いただけます。
【プログラム】※変更の可能性があります。	
基調報告「人口減少による課題を踏まえた認定こども園のこれからの在り方」	全国保育協議会 副会長 伊藤唯道
行政報告「認定こども園をめぐる国の動向」	内閣府子ども・子育て本部
講義Ⅰ「認定こども園の基礎と運営戦略について(仮)」	保育システム研究所 代表 吉田正幸 氏
◎講義Ⅱ「保幼小の接続を見据えた教育・保育のあり方について」	神戸大学大学院 教授 北野幸子 氏
◎講義Ⅲ「地域家庭支援のためのリーダー育成について」	和洋女子大学 教授 矢藤誠慈郎 氏
◎講義Ⅳ「虐待予防を踏まえた認定こども園の役割について」	関西大学人間健康学部人間健康学科 教授 山縣文治 氏

◆「第20回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会」開催のご案内(児童虐待防止全国ネットワーク)

NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク(オレンジリボン事務局)は、11月27日(日)、銀座ブロッサム中央会館ホール(東京都中央区)にて「第20回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会」を開催します。

この集会は、虐待によって亡くなった子どもたちに鎮魂の祈りを捧げ、子ども虐待防止のために一人ひとりができること考えるものです。

第1部「虐待死を悼み、命を讃える」では、どのような原因で命をおとしたのか、過去1年間に虐待で命を失った子どもたちについて読み上げ、参加者全員で黙とうを捧げます。

第2部「生い立ち関係なく、誰でも好きなじぶんになれる！」では、一般社団法人ゆめさぽ代表理事の田中れいか氏より、児童養護施設等で育つということはどういうことなのかについて講演&が行われ、課題や必要とされる支援のあり方について考える内容となっています。



第3部「子ども虐待防止を訴える『鎮魂の行進』」では、会場である銀座ブロッサムをスタートし、オレンジリボンを身に付け、子ども虐待防止に対する想いを胸に、子どもと子育てにやさしい社会づくりをアピールします。

【日時】 令和4年11月27日（日）13時開演

【会場】 銀座ブロッサム中央会館ホール（同時ライブ配信を実施）

【参加費】 無料（事前申込不要）

詳細は下記をご参照ください。

■11/27「第20回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会」開催のお知らせ

<https://www.orangeribbon.jp/info/npo/2022/08/1127-20.php>